

県立高校校名検討懇話会 県立高校改革実施計画（I期）第一次報告書

平成 28 年 6 月 29 日
県立高校校名検討懇話会
会長 池田 敏和

県立高校校名検討懇話会は、県立高校改革実施計画（I期）に基づき学科改編及び再編・統合等の対象となる高校の名称案の選定等について検討するため、平成 28 年 4 月に設置された。

このたび、平成 29 年度に学科改編等を実施する高校のうち、校名変更の検討対象校と当該校の校名候補を選定し、「県立高校改革実施計画（I期）第一次報告書」として神奈川県教育委員会に報告するものである。

1 校名選定の考え方について

校名選定にあたっては、まず、校名選定の考え方について、前回の県立高校改革での校名選定の考え方を参考に協議・検討した。

前回の改革では、再編・統合等により総合学科や単位制普通科といった新しいタイプの高校などが誕生し、新校として歩いていくことを鮮明にする必要があったことから、ほとんどの新校に新たな校名がつけられた。

今回、校名変更の検討対象となる学校については、生徒や学校関係者、地域に現在の校名が浸透し、親しまれている点に配慮して、現在の校名が改編後の学科を正しく表していない場合を除き、できる限り現在の校名を生かすこととし、次のとおり「県立高校改革における校名選定の考え方」をまとめた。

県立高校改革における校名選定の考え方

《校名選定の方針》

- ① 再編・統合等の対象となった学校の校名を選定する。
- ② 校名の検討時期は、再編・統合等の実施年度の前年度とする。
- ③ 単独改編は原則として校名変更は行わない。ただし、学科表示等に齟齬ある場合は除く。
- ④ 普通科専門コース及びフレキシブルスクールの解消については、校名変更は行わない。

《校名選定の基本的な視点》

- ① 学校の所在地や学校の種類がわかりやすいこと。
- ② 生徒や学校関係者、地域の方々に親しまれるものであること。
- ③ 生徒がその学校で学ぶことに喜びと誇りを持てること。

《校名選定の考え方》

基本的視点を踏まえ、既存名称の使用も含め、概ね次の考え方により校名を選定することとする。

(1) 学校の所在地の市区町村名を使用する。

- ① 市区町村名を使用することを原則とする。
- ② 既に、市区町村名が使用されている学校が存在する場合は、市区町村名と地名・地域名（字名、所在する地区を表す東西南北などを含む）を使用する。

- ③ 市区町村名、地域名等を使用することで既存の学校と類似する校名になる場合や、生徒が喜びと誇りを持てるような校名として適切な言葉がある場合は、学校の設置趣旨、期待等を表す言葉（ひらがなの使用など表記を工夫することを含む）などを使用する。
- ④ 既存の学校を除き、広域の地域名は、既存校と区別しやすい、あるいは、全県のバランス上など広域名を使用しても他への影響が小さい場合などに限り、使用を検討する。
- (2) 学校の種類を表す言葉を付加する。
- ① 普通科は、これまでも学科を表す言葉を付加しないことから、これに合わせて、今後も学科を表す言葉はつけない。（フレキシブルスクールも普通科の単位制であることから、学科名はつけないが、学校の趣旨等を表す言葉やひらがなの使用など表記を工夫する。）
- ② 総合学科は、「総合」を付加することで学科を表す。
なお、総合学科から他の学科への改編にあつては、原則として「総合」を削除する。
- ③ 専門学科にあつては、専門教育の特徴を表す言葉で学科を表す。
この場合は、同一の学科は同一の言葉を使用する。ただし、複数の学科を併置する場合は、この限りでない。
- (3) 上記のほか、次の点に留意する。
- ① 長さ、読みやすさ、語呂、略称（短縮した校名）、響きなどにも留意する。
- ② 既設校等の類似名称は避ける。
- ③ 差別語、揶揄される意味の言葉、地元や生徒等が嫌う語彙は避ける。

2 対象校と校名候補の選定について

「県立高校改革における校名選定の考え方」に基づき、平成 29 年度に学科改編等を実施する 20 校について検討し、(3)のとおり、6 校を校名変更の検討対象校とした。

(1) 平成 29 年度に学科改編等を実施する高校(20 校)

校 名		改編後の学科	改編前の学科
普通科専門コースの解消			
1	荏田	普通科	普通科(体育コース)
2	生田		普通科(自然科学コース)
3	横浜南陵		普通科(健康福祉コース)
4	磯子		普通科(グローバルコミュニケーションコース)
5	高浜		普通科(福祉教養コース)
6	西湘		普通科(理数コース)
7	山北		普通科(スポーツリーダーコース)
8	有馬		普通科(英語コース)
9	綾瀬西		普通科(福祉教養コース)
普通科専門コースから専門学科へ改編			
10	白山	普通科・美術科	普通科(美術コース)
11	上矢部		普通科(美術陶芸コース)
12	厚木北	普通科・スポーツ科学科	普通科(スポーツ科学コース)
フレキシブルスクールの解消			
13	横浜桜陽	普通科	普通科(フレキシブルスクール)
総合学科の改編			
14	大師	普通科	総合学科
15	横浜緑園総合		
16	横浜清陵総合		
17	吉田島総合	農業科・生活科学科	
専門学科の改編			
18	横浜国際	国際科	国際情報科
19	小田原総合ビジネス	普通科・総合ビジネス科	総合ビジネス科
20	弥栄	普通科・音楽科・美術科・スポーツ科学科	国際科・理数科・芸術科・スポーツ科学科

(2) 検討対象校の選定

○ 普通科専門コースの解消(9校)

荏田、生田、横浜南陵、磯子^(※)、高浜^(※)、西湘、山北、有馬、綾瀬西

⇒ 校名選定の方針④

上記9校は、普通科専門コースの解消のみであり、普通科であることに変わりなく、学科表示等に齟齬はないため、校名変更の検討対象校としない。

○ 普通科専門コースから専門学科へ改編(3校)

白山(普通科・美術科)、上矢部(普通科・美術科)、厚木北(普通科・スポーツ科学科) ⇒ 校名選定の方針③

普通科に専門学科が併置される形であるが、両方の学科を表すふさわしい言葉が見当たらないこと、学科を表す言葉のない現在の校名の方が誤解を招かないものと判断し、校名変更の検討対象校としない。

○ フレキシブルスクールの解消(1校)

横浜桜陽 ⇒ 校名選定の方針④

フレキシブルスクールの解消のみであり、普通科であることに変わりなく、学科表示等に齟齬はないため、校名変更の検討対象校としない。

○ 総合学科の改編(4校)

大師(普通科)、横浜緑園総合(普通科)、横浜清陵総合(普通科)、吉田島総合(農業科・生活科学科) ⇒ 校名選定の方針③

学科表示等に齟齬がないかを改めて検討することとし、校名変更の検討対象校とする。

○ 専門学科の改編(3校)

横浜国際(国際科)、小田原総合ビジネス(普通科・総合ビジネス科)

⇒ 校名選定の方針③

学科表示等に齟齬がないかを改めて検討することとし、校名変更の検討対象校とする。

弥栄^(※)(普通科・音楽科・美術科・スポーツ科学科)

⇒ 校名選定の方針③

専門学科に普通科が併置される形であるが、現在の校名が特定の専門学科を表しておらず、学校としての学科表示等に齟齬がないものと判断し、校名変更の検討対象校としない。

(※) 磯子、高浜、弥栄については、今回の検討対象校とはしないが、今後、再編・統合が予定されており、校名選定の方針②により、再編・統合の前年度に再度県立高校校名検討懇話会で検討する。

(3) 校名変更の検討対象の高校(6校)

(2)により、次の6校について協議・検討することとした。

	校名	改編後の学科	改編前の学科
i	大師	普通科	総合学科
ii	横浜緑園総合	普通科	総合学科
iii	横浜清陵総合	普通科	総合学科
iv	吉田島総合	農業科・生活科学科	総合学科
v	横浜国際	国際科	国際情報科
vi	小田原総合ビジネス	普通科・総合ビジネス科	総合ビジネス科

3 校名候補の選定

校名候補の選定にあたっては、平成28年4月27日から6月17日にかけて、対象校を通じて関係者(生徒、教職員、PTA、同窓会、地域住民等)から意見聴取し、その結果も踏まえ、次のとおり選定した。(「選定理由」の()内の数字は「校名選定の考え方」の番号)

(i) 大師高校(総合学科から普通科へ改編/所在地:川崎市川崎区四谷下町)

校名候補	選定理由
だいし 大師	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在の校名が浸透し、親しまれている点に配慮し、できる限り現在の校名を生かす。 ○ 総合学科から普通科への改編であるが、普通科はこれまでも学科を表す言葉を付加しないことから、これに合わせて、学科を表す言葉は付さない。((2)-①)

《意見聴取結果》

【生徒】(意見聴取の方法:生徒への説明に対する意見)

校名(よみがな)	由来・理由・意見
だいし 大師	新たな校名案は特になし。

【教職員】(意見聴取の方法:職員への説明に対する意見)

校名(よみがな)	由来・理由・意見
だいし 大師	新たな校名案は特になし。

【PTA】(意見聴取の方法:PTA総会における学科改編説明に対する意見)

校名(よみがな)	由来・理由・意見
だいし 大師	新たな校名案は特になし。

【同窓会】(意見聴取の方法:県の発表に対する意見)

校名(よみがな)	由来・理由・意見
だいし 大師	新たな校名案は特になし。

【地域住民(自治会など)】(意見聴取の方法:町内会長から聴き取り)

校名(よみがな)	由来・理由・意見
だいし 大師	設立時から地域の名を入れてほしいという要望をした経緯がある。今後もこの名を残してほしい。

(ii) 横浜緑園総合高校（総合学科から普通科へ改編／所在地：横浜市泉区岡津町）

校名候補	選定理由
よこはまりよくえん 横浜緑園	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在の校名が浸透し、親しまれている点に配慮し、できる限り現在の校名を生かす。 ○ 総合学科から普通科への改編であるが、普通科はこれまでも学科を表す言葉を付加しないことから、これに合わせて、学科を表す言葉は付さない。((2)-①) ○ 総合学科から普通科へ改編することから、これまでの名称である「横浜緑園総合」から「総合」を削除する。((2)-②)

《意見聴取結果》

【生徒】（意見聴取の方法：生徒会役員から聴き取り）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
よこはまりよくえん 横浜緑園	横浜と緑園は残しておいてほしいと思います。
よこはまりよくえんそうごう 横浜緑園総合	学校名はそのままでよいと思います。

【教職員】（意見聴取の方法：職員会議で説明し後日意見集約）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
よこはまりよくえん 横浜緑園	単独改編のため大きく変えず総合だけを取ればよい。
よこはまりよくえんそうごう 横浜緑園総合	校章などの変更を考えるとそのままでよい。

【PTA】（意見聴取の方法：PTA運営委員会で意見集約）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
よこはまりよくえん 横浜緑園	学校がなくなるのではなく、校歌などにも影響がないので総合を取るだけでよいと思う。

【同窓会】（意見聴取の方法：同窓会長に電話で聴き取り）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
よこはまりよくえんそうごう 横浜緑園総合	神奈川総合高校のように総合が入った高校名でもよいと思う。

【地域住民（自治会など）】（意見聴取の方法：電話による聴き取り）

校 名（よみがな）	由来・理由・意見
<p>おかつ 岡津</p>	<p>横浜緑園総合高等学校の校地は、地元の岡津地区の住民が話し合って了解したものであり、統合によって校名が変更されたが、地元の学校として、岡津幼稚園・岡津小学校・岡津高校と連続したものであって欲しい。（中川地区連合町内会長）</p> <p>校地の立地場所にかかわる校名が自然でありふさわしいと考える。（緑園地区活性化委員会委員長）</p>
<p>よこはませいほう 横浜西峰</p>	<p>横浜の西に位置し、丘陵地帯に位置しており、音の響きがよいため。（緑園地区活性化委員会委員長）</p>
<p>いずみ みね 泉が峰</p>	<p>泉区北東部の丘の上に建つ学生の高い理想と末永き未来をイメージ。（緑園地区活性化委員会委員長）</p>
<p>その他、校名検討に関する意見</p> <p>○中川地区連合町内会長から、少なくとも「岡津」という地名が活かされる校名であってほしいと強い希望があった。</p> <p>○緑園地区活性化委員会委員長から、『緑園』という名は校地の立地と関連性がなく、不自然であり、立地場所の『岡津』が最も良いと考える。そのことが困難な場合は、横浜西峰や泉が峰を候補としたい。</p>	

(iii) 横浜清陵総合高校（総合学科から普通科へ改編／所在地：横浜市南区清水ヶ丘）

校名候補	選定理由
よこはませいりょう 横浜清陵	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在の校名が浸透し、親しまれている点に配慮し、できる限り現在の校名を生かす。 ○ 総合学科から普通科への改編であるが、普通科はこれまでも学科を表す言葉を付加しないことから、これに合わせて、学科を表す言葉は付さない。((2)-①) ○ 総合学科から普通科へ改編することから、これまでの名称である「横浜清陵総合」から「総合」を削除する。((2)-②)

《意見聴取結果》

【生徒】（意見聴取の方法：生徒会スタッフ 25 名からアンケートによる聴き取り）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
横浜清空	—
よこはませいりょう 横浜清陵	新校名は現行名を尊重すべきで、清陵を残すべき。
よこはませいりょうそうごう 横浜清陵総合	現校名でよい。
その他、校名検討に関する意見（任意回答） 横浜清陵高校が 18 名、横浜清陵総合高校が 1 名、横浜清空 1 名。無回答 5 名。	

【教職員】（意見聴取の方法：職員会議で校名変更を説明し、意見を聴き取り）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
よこはませいりょう 横浜清陵	総合を除いただけで、そのまま校章やユニホーム等を使用できる。
その他、校名検討に関する意見 初期の学校管理職の中には「総合」を外さなくてもいいのではないかという意見もある。	

【PTA】（意見聴取の方法：役員会や総会で校名変更を説明し、意見を聴き取り）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
よこはませいりょう 横浜清陵	総合学科でなくなり現校名が使えないのなら、総合を除くのがよい。

【同窓会】（意見聴取の方法：同窓会長へメールで意見を聴き取り）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
よこはませいりょう 横浜清陵	清陵という名を残してほしい。

【地域住民（自治会など）】（意見聴取の方法：直接訪問による聴き取り）

校 名 （よみがな）	由来・理由・意見
—	—
その他、校名検討に関する意見 3自治会、1商店街の会長の自宅を訪問したが、特に校名に対する意見はなかった。	

(iv) 吉田島総合高校

(総合学科から農業科及び生活科学科へ改編／所在地：開成町吉田島)

校名候補	選定理由
<p>よしだじま 吉田島</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在の校名が浸透し、親しまれている点に配慮し、できる限り現在の校名を生かす。 ○ 総合学科から他の学科への改編であることから、これまでの名称である「吉田島総合」から「総合」を削除する。((2)－②) ○ 総合学科から専門学科である農業科及び生活科学科への改編であり、複数の専門学科を併置することとなるが、複数の専門教育の特徴を表すのにふさわしい言葉が見当たらないことから学科を表す言葉は付さない。((2)－③)
<p>かいせいよしだじま 開成吉田島</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在の校名が浸透し、親しまれている点に配慮し、できる限り現在の校名を生かす。 ○ 総合学科から他の学科への改編であることから、これまでの名称である「吉田島総合」から「総合」を削除する。((2)－②) ○ 所在地名として、市区町村名である「開成」を加える。((1)－①) ○ 総合学科から専門学科である農業科及び(生活科学科への改編であり、複数の専門学科を併置することとなるが、複数の専門教育の特徴を表すのにふさわしい言葉が見当たらないことから学科を表す言葉は付さない。((2)－③)
<p>よしだじませんもん 吉田島専門</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在の校名が浸透し、親しまれている点に配慮し、できる限り現在の校名を生かす。 ○ 総合学科から他の学科への改編であることから、これまでの名称である「吉田島総合」から「総合」を削除する。((2)－②) ○ 総合学科から専門学科である農業科及び生活科学科への改編であり、複数の専門学科を併置することになる。 これらの複数の専門教育の特徴を表すのにふさわしい言葉は見当たらないが、専門学科高校であることを明示するため、「専門」を付す。((2)－③)

《意見聴取結果》

【生徒】（意見聴取の方法：任意によるアンケート）

校名(よみがな)	由来・理由・意見
あじさい 紫陽花	—
みどりがおかのうりん 緑ヶ丘農林	自然が豊か。
よしだじまあじさい 吉田島紫陽花	学校の周り紫陽花が多くあるから。
よしだじまそうごう 吉田島総合	そのままがいい。
よしだじまのうりん 吉田島農林	—

【教職員】（意見聴取の方法：任意によるアンケート）

校名(よみがな)	由来・理由・意見
かいせい 開成 (2票)	<ul style="list-style-type: none"> ・開成町にあり、吉田島にこだわらない広がりがあるので。 ・開成は世の人知を開発し、事業を完成すること。設置する町名を生かす。
かいせいよしだじま 開成吉田島	<ul style="list-style-type: none"> ・開成の出典は易経「開物成務」。これから現在の開成小学校名がつけられた。旧酒田村と旧吉田島村が合併するときに、開成小学校の名前を取り開成町となった。 ・江戸時代から引き継ぐ「吉田島」の地名で親しみ深い。人知を開き為すべき事の成就の「開成」の意味は、新たな学科を興すイメージを示す。
まつだ 松田	地名で分かりやすい。
よしだじま 吉田島	吉田島という校名は昭和初期より使っています。地域に浸透した名前なので、吉田島という名称を使用していただきたい。
よしだじまきんらん 吉田島金蘭	<ul style="list-style-type: none"> ・易経では、非常に親密な交わり、非常に厚い友情の意味がある。金蘭はラン科の多年草。雑木林や里山環境の悪化によって個体数が減少している。新校の教育のシンボルとして位置づけられる。
よしだじまのうせいめい 吉田島農生命	<ul style="list-style-type: none"> ・「吉田島」は長きにわたり、地域かつ全面的に浸透し、親しまれている。 ・新校の農業科と生活科学科を冠す「農」と「生」及各科の農、食、環境、健康にかかる学びは、「命」の学びに通じる。

【同窓会】（意見聴取の方法：団体の代表者からの聴き取り）

校名検討に関する意見

「吉田島」という名称を残していただければよい。吉田島の前後にどのような名称がきても構わない。

【保護者】（意見聴取の方法：任意によるアンケート）

校名(よみがな)	由来・理由・意見
よしだじま 吉田島 (4票)	<ul style="list-style-type: none"> ・この校名であったなら何の学科になっても変更しなくて良いと思いました。吉田島とは古くから知られているので、このまま残した方がよいと思いました。 ・学科がかわっても学校名を変えなくていいように。 ・地名がいままでどおり入り、今後どの学科増えてもよい感じに。 ・地域名だから。
よしだじませんもん 吉田島専門 (2票)	農業、生活科。
かいせいじつぎょう 開成実業	今発展しつつある開成町と唯一開成町に高校があるので。
かいせいのうぎょう 開成農業	町名の開成と農業。
けんせいじつぎょう 県西実業	高校から富士山がちょうど西の方向に見えるので。
しすいのうぎょう 紫水農業	開成町の紫陽花のイメージが沸くのと、この地域の人に愛され親しまれている大橋の名前をとって。
よしだじまえーえるしー 吉田島ALC	Agriculture(農業)を通じて life(生活)を Creation(創造)することを学べる学校。
よしだじまじつぎょう 吉田島実業	吉田島農林高校からの名前を残し、伝統を大切にしたいので。
よしだじまそうごう 吉田島総合	このままの校名でよいと思う。短期間で校名がコロコロ変わりすぎ。
よしだじまのうがく 吉田島農学	農業を通じた生活の有り方を学ぶことのできる学校。
よしだじまのうぎょう 吉田島農業	地名の吉田島と農業。
よしだじまのうりん 吉田島農林	<ul style="list-style-type: none"> ・以前の校名に戻す。 ・「吉田島」という名前は残したい。専門高校に生まれ変わるといことなので。

その他、校名検討に関する意見

- ・学科が変更するたびに校名が変更するので、ずっと変わらないような校名でいて欲しいです。
- ・歴史があるので「吉田島」ははずせないのでは。
- ・吉田島農林高校からのよき伝統を受け継ぎ、なるべく名前を残していきたいと思ます。
- ・今のままの「吉田島総合高校」が一番良いと思いますが。「吉総」の愛称がいい。
- ・「吉田島」を校名に残してください。

【地域住民（自治会など）】（意見聴取の方法：自治会・町の教育委員に聴き取り）

校 名（よみがな）	由来・理由・意見
かいせい	開成町にあり、町唯一の高校であるため。
よしだじま 吉田島	過去からの歴史をふまえて「吉田島」を残す。
かいせいちゅうおう 開成中央	町の中心に位置し、学業の中核としてふさわしい。
かいせいのうぎよう 開成農業	他校でも生活科は校名に入れていないところが多いので、開成町にあること、農業高校名とした。
よしだじまのうぎよう 吉田島農業	農業科の募集を行うとのことですので、はっきりと学校の目指すべき内容、方向を学校名に残すことが大事であると思います。また、吉田島という文言は、卒業生にとっても地域にとっても是非継続して付けてほしい学校名です。
よしだじましよくさん 吉田島殖産	農業科及び数年後の生活科学科の新設を念頭においた場合、農業科や生活科学で学んだ生徒が日本の産業を活性化し、ひいては農業の発展に寄与することを校是として学んでほしいと思いました。
よしだじまのうぎよう かてい 吉田島農業・家庭	—
よしだじませんもん 吉田島専門	—

(v) 横浜国際高校（国際情報科から国際科へ改編／所在地：横浜市南区六ツ川）

校名候補	選定理由
よこはまこくさい 横浜国際	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在の校名が浸透し、親しまれている点に配慮し、できる限り現在の校名を生かす。 ○ 国際情報科から国際科への改編であり、新しい専門学科の特徴に、より合致する言葉として「国際」を使用する。((2)－③)

《意見聴取結果》

【生徒】（意見聴取の方法：生徒会役員生徒から聴き取り）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
よこはまこくさい 横浜国際	日本語名を英語名に直すと「Y I S」で、＝「W I S E」として定着しており、本校生徒の自主自立にしてスマートな印象を表現しているため。

【教職員】（意見聴取の方法：改編検討チームから聴き取り）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
よこはまこくさい 横浜国際	<p>県内唯一の国際科の学校として「国際」という名称を使いたい。またSGH（スーパーグローバルハイスクール）として県内外の高校に本校の名称が定着している。</p> <p>海外から帰国される受検生や保護者が「国際」を学校の検索のキーワードとして検索し、その結果として本校に問い合わせがきており、国際バカロレア認定校を目指す本校としては、名称を残しておきたい。</p> <p>本校が外語短大付属高校と六ツ川高校と改編される時に、すでに初代校長が国際科に変更されても周知される校名として決定したという経緯もある。</p>

【PTA】（意見聴取の方法：PTA役員から聴き取り）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
よこはまこくさい 横浜国際	PTAとして「横浜国際高校」を盛り上げようとオリジナルグッズの考案をして文化祭などで販売してきており、地域を表す「横浜」と専門高校を示す「国際」という現在の校名でよい。

【同窓会】（意見聴取の方法：同窓会代表者から聴き取り）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
よこはまこくさい 横浜国際	開校して約10年がたち、新しい校名として定着してきているため。

【地域住民（自治会など）】（意見聴取の方法：自治会長からの聴き取り）

校 名 （よみがな）	由来・理由・意見
<small>よこはまこくさい</small> 横浜国際	もう名前も浸透しており、地域の人はいずれも文句を言う人はいない。
その他、校名検討に関する意見 国際科の学校であればなおのこと、横浜国際高等学校でよいのではないか。（地域の学校（小中学校）からの意見。）	

(vi) 小田原総合ビジネス高校

(総合ビジネス科から普通科及び総合ビジネス科へ改編／所在地：小田原市東町)

校名候補	選定理由
<p>おだわらひがし 小田原東</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 所在地名として、市名である「小田原」を冠す。((1)－①) ○ 既に、市区町村名が使用されている学校が存在する(小田原)ため、市区町村名と地名・地域名(字名、所在する地区を表す東西南北などを含む)として「東」を付す。((1)－②) ○ 総合ビジネス科から普通科及び総合ビジネス科の複数の学科を併置する改編であり、専門教育の特徴を表す言葉を付けた場合は、普通科が併置されていることが明示されず、学校の種類がわかりにくくなるおそれがあることから学科を表す言葉は付さない。((2)－③)
<p>おだわらじょうとう 小田原城東</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 所在地名として、市名である「小田原」を冠す。((1)－①) ○ 既に、市区町村名が使用されている学校が存在する(小田原)ため、市区町村名と地名・地域名(字名、所在する地区を表す東西南北などを含む)として小田原城の東に位置することを意味する「城東」を付す。((1)－②) ○ 総合ビジネス科から普通科及び総合ビジネス科の複数の学科を併置する改編であり、専門教育の特徴を表す言葉を付けた場合は、普通科が併置されていることが明示されず、学校の種類がわかりにくくなるおそれがあることから学科を表す言葉は付さない。((2)－③) ※ 過去に使用した校名^(*)ではあるが、既存名称の使用も含めて、校名を選定するという「校名選定の考え方」により校名候補とした。 (*) 平成20年に「小田原城東」と「湯河原」が再編・統合され「小田原総合ビジネス」となった。
<p>おだわら 小田原みらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 所在地名として、市名である「小田原」を冠す。((1)－①) ○ 生徒の「未来」が「開かれる」ことを期待するとともに、太平洋に向かって「開かれた」地にあることから、「未来」を付すが、親しみのもてる柔らかい表現として、ひらがなを使用し、「みらい」を付す。((1)－③) ○ 総合ビジネス科から普通科及び総合ビジネス科の複数の学科を併置する改編であり、専門教育の特徴を表す言葉を付けた場合は、普通科が併置されていることが明示されず、学校の種類がわかりにくくなるおそれがあることから学科を表す言葉は付さない。((2)－③)

《意見聴取結果》

【生徒】（意見聴取の方法：生徒会役員から生徒会顧問が直接聴取）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
おだわらじょうとう 小田原城東	地域の方々の認知度が高く元の校名に戻したほうが良い。
おだわらそうごう 小田原総合	複数の学科を併置する学校のため。
おだわらひがし 小田原東	小田原市東町に位置しているため。

【教職員】（意見聴取の方法：商業科を中心に会議で意見聴取）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
おだわらひがし 小田原東 5票	<ul style="list-style-type: none"> ・小田原市東町にある学校でもあり、総合ビジネスの前の城東の名前も受け継いでいる。 ・以前の城東の名から東のみ校名に入れる。シンプルで覚えやすい。字数はできるだけ少なく。 ・東町なので小田原の東ということ。 ・東部にあるため。
おだわらじょうとう 小田原城東 3票	<ul style="list-style-type: none"> ・同窓会と同意見。 ・元の名前に戻すのが一番いいと思う。 ・卒業生（OB・OG）の方から戻してほしいという声もあり、新校になる機会に戻すのもよいと思った。
にしさがみ 西さがみ 3票	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年に西さがみ連邦共和国は解散してしまったが、現在でもこの地域には西さがみという言葉は根付いている。また、本校には「西さがみと観光ビジネス」という学校設定科目があり、新校でも観光教育に力を入れていくことを考えるとふさわしい名称だと考えられる。
おだわらかいひん 小田原海浜	—
おだわらこうせい 小田原光青	海や空が近くあり、生徒も輝いてほしいから。
おだわらせいこう 小田原青光	
おだわらしーさいど 小田原シーサイド	海から近いので。
おだわらしーとびあ 小田原シートピア	海の近くということもあり、誰でもすぐに覚えられる名前にした。
しーとびあおだわら シートピア小田原	

おだわらじっせん 小田原実践	—
おだわらじょうしゅう 小田原城潮	小田原城の海側にあり、歴史や風光明媚な位置に有するところ。
おだわらじょうしん 小田原城新	小田原城下にできた新しい学校。
おだわらじょうせん 小田原城川	小田原城と川の町にある学校。城東と湯河原も少し意識した校名。 「川」の字の3本をそれぞれ、城東、湯河原、ビジネスがひとつになって相模湾のように大きく、生徒も学校も成長していきたいイメージ。 また、ネットで検索するとき、「小田原城」でもページに出てきそうである。
おだわらじょうび 小田原城美	城東の「城」とビジネスの「ビ」（美）を入れました。
じょうび 城美	
おだわらそうぎょう 小田原創業	小田原の企業家を育む高校でありたい。
おだわらひがしびじねす 小田原東ビジネス	—
おだわらべい ふゅーちゃー 小田原ベイ・フューチャー	海の近くの学校で海をイメージした校名になると「海」、「洋」、「浜」が多くみられる。日本全国を見ても使用されていない「ベイ」を校名に入れ、本校がいまだ未来形であること、生徒も教員も学校も地域も未来に向けて前進という意味で「フューチャー」を入れた。
おだわらぼうよう 小田原望洋	海岸線に近い位置にあり、大海原を望む学校をイメージ。
おだわらみらい 小田原未来	小田原の未来をこの学校から創る。
おだわらりてらしー 小田原リテアシー	—
けんせいかいひん 県西海浜	神奈川県西部にあり、「小田原」、「西さがみ」、「西湘」を使わない地域性の名前を考えると「県西」が画期的と思われた。海付近の学校は「〇洋」が多い中、「海浜」が覚えやすいと思われた。
さかわ 酒匂	—
みなみ 美波	海が近く、美しい波がくり返し打ち寄せるように、子供たちの成果が美しい波のように何度も打ち寄せる。

【PTA】（意見聴取の方法：役員に要望があればFAXでの回答を依頼）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
要望なし	—

【同窓会】（意見聴取の方法：同窓会長および役員から直接聴取）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
おだわらじょうとう 小田原城東	これまでの歴史を考えると、城東高校の名称が定着していて地域住民や同窓生から愛着を持たれている。（平成28年5月12日付けで同窓会より学校長あて要望書の提出あり。）

【地域住民（自治会など）】（意見聴取の方法：自治会長から聴き取り）

校名（よみがな）	由来・理由・意見
せいかい 青海	—
しおさい 潮騒	—
じょうせい 城青	—
ほうじょう 北条	—
おだわらじょうとう 小田原城東	—

4 協議経過

開催日		協議内容
平成 28 年 4 月 25 日	第 1 回	<ul style="list-style-type: none">・ 県立高校改革における校名選定の考え方について・ 検討スケジュールについて
平成 28 年 5 月 27 日	第 2 回	<ul style="list-style-type: none">・ 学校関係者からの意見聴取について・ 対象校の校名について・ 今後のスケジュールについて
平成 28 年 6 月 24 日	第 3 回	<ul style="list-style-type: none">・ 地域住民からの意見聴取について・ 対象校の校名について・ 県立高校校名検討懇話会の報告書について・ 今後のスケジュールについて

県立高校校名検討懇話会の設置及び運営に関する要綱

(設置目的)

第1条 県立高校改革に伴う再編・統合等の対象となる高校の校名に関する有識者等の意見を聴取し、校名検討に反映させるため、県立高校校名検討懇話会（以下「懇話会」という。）を設置する。

(意見を求める事項)

第2条 懇話会は、次の事項について、専門的見地等に基づく意見を聴取する。

- (1) 県立高校改革に伴う再編・統合等の対象となる高校の校名に関すること。
- (2) その他校名に関し教育長が必要と認める事項。

(設置期間)

第3条 懇話会の設置期間は、平成32年3月31日までとする。

(構成員)

第4条 懇話会は、教育行政や学校教育に関する学識経験を有する者等や一般県民（公募構成員を含む）から選定した者5名をもって構成する。

- 2 懇話会の構成員（以下「構成員」という。）の選任期間は2年間とする。ただし、最初の期間は、懇話会設置の日から平成30年3月31日までとする。

(会長)

第5条 懇話会に会長1人を置く。

- 2 会長は、構成員の互選により定める。
- 3 会長は、懇話会における意見を取りまとめる。
- 4 会長が不在のときは、あらかじめ会長が指名する者が代理する。

(会議の開催)

第6条 懇話会は、会長が必要に応じて開催する。

- 2 会長は、必要があると認めるときは、懇話会に構成員以外の者を出席させることができる。

(庶務)

第7条 懇話会の庶務は、教育局総務室が行う。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇話会の運営等に関し、必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成28年3月18日から施行する。

県立高校校名検討懇話会構成員名簿

氏 名		職 名 等
会 長	池田 敏和	横浜国立大学 教育人間科学部 教授
会長代理	増渕 広美	県立市ヶ尾高等学校 校長
構成員	有園 優子	公募構成員
	大野 光雄	ニコ株式会社 代表
	中野 真衣子	神奈川県立高等学校 PTA 連合会 副会長